

# 大阪府民の「健康と生活に関する調査」

## 令和5年度・令和6年度・令和7年度 3か年比較報告書

### ■ 調査実施主体

大阪府こころの健康総合センター

### ■ 調査の概要

○調査目的 令和5年3月に策定された「第2期大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画」に基づいて、府民のみなさまのこころやからだの健康、生活習慣、ギャンブル等の参加状況等をお聞きし、ギャンブル等をはじめとした依存症対策を考えるための基礎資料とすることを目的として実施した。

○調査方法 住民基本台帳から無作為に**18歳以上の対象者18,000名**を抽出し郵送にて自記式アンケート調査票を送付。

○調査期間 毎年10月1日～10月31日

○回答方法 郵送かインターネットのいずれかを選択。

○調査内容 ①基本属性・背景情報、②ギャンブル等行動、③ギャンブル等関連問題  
④ギャンブル障害のスクリーニングテスト、⑤クロスアディクション、  
⑥その他

(※1)本調査における「ギャンブル等」とは、結果が偶然性に左右されるゲームや競技に対して、金銭を賭ける行為のことを言います。また、競馬、競輪、競艇などの公営ギャンブル、パチンコ・パチスロのほか、宝くじやスポーツ振興くじ、証券の信用取引(FX)を含みます。

実施主体 大阪府こころの健康総合センター

# 目 次

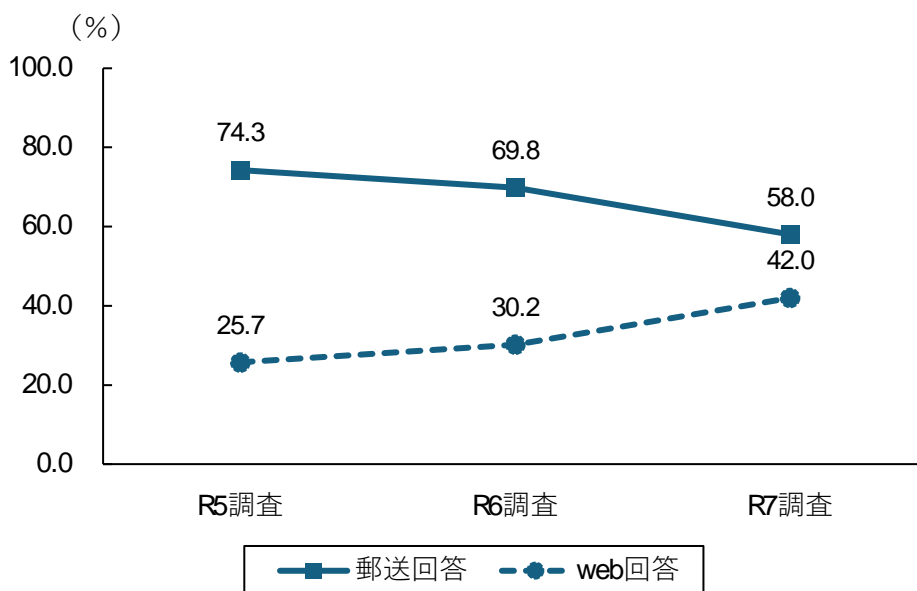
回答方法と回答者数	2
回答方法と回答者数の経年比較	2
回答者属性	3
(1)年齢の推移	3
(2)ギャンブル等生涯参加率の推移	4
1 SOGS(South Oaks Gambling Screen)	5
(1)SOGS 得点分布の経年比較	5
2 PGSI(The Problem Gambling Severity Index)	7
(1)PGSI 得点分布の経年比較	7
3 ギャンブル等行動の経年比較	9
(1)過去1年間で経験したギャンブル等の種類	9
(2)過去1年間に行ったギャンブル等の頻度	10
(3)ギャンブル等依存が疑われる者の群とそうでない者の群の比較-公営競技等の主な券の購入方法	11
(4)過去1年間で最もお金を使ったギャンブル等の種類	13
(5)過去1年間で1か月あたりにギャンブル等にかけた金額	14
4 ギャンブル等依存症対策に関する認知度	15
5 ギャンブル等依存症に対する認識	16
6 その他統計(飲酒問題・喫煙・抑うつ、不安・希死念慮)	17
(1)飲酒問題の有無	17
(2)喫煙	17
(3)抑うつ、不安との関連	18
(4)希死念慮	18
7 「ギャンブル等依存が疑われる者」における「ギャンブル等関連問題」	19
(1)ギャンブル等問題と飲酒問題との関連	19
(2)ギャンブル等問題と喫煙との関連	19
(3)ギャンブル等問題と抑うつ、不安との関連	20
(4)ギャンブル等問題と希死念慮との関連	20

## 回答方法と回答者数

### 回答方法と回答者数の経年比較

R5 調査では Web 回答の割合は 25.7%であったが、R7 調査においては 42.0%となった。

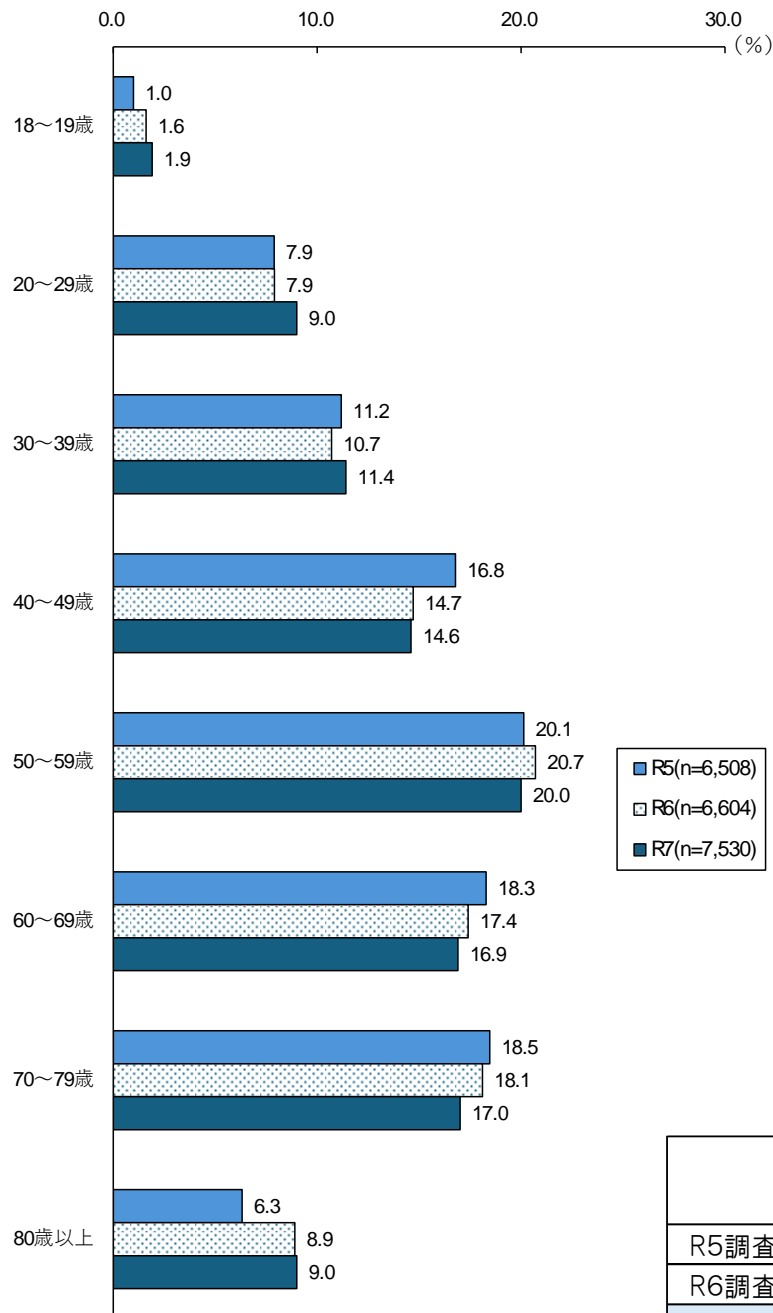
			n	回答方法	
				郵送回答	web回答
全 体	R5調査	人数 割合	6,616 (100.0%)	4,913 (74.3%)	1,703 (25.7%)
	R6調査	人数 割合	6,731 (100.0%)	4,698 (69.8%)	2,033 (30.2%)
	R7調査	人数 割合	7,657 (100.0%)	4,444 (58.0%)	3,213 (42.0%)



## 回答者属性

### (1) 年齢の推移

R5 調査から R7 調査にかけて、60 歳～79 歳の割合はわずかに減少し、80 歳以上と 18～29 歳で増加がみられた。

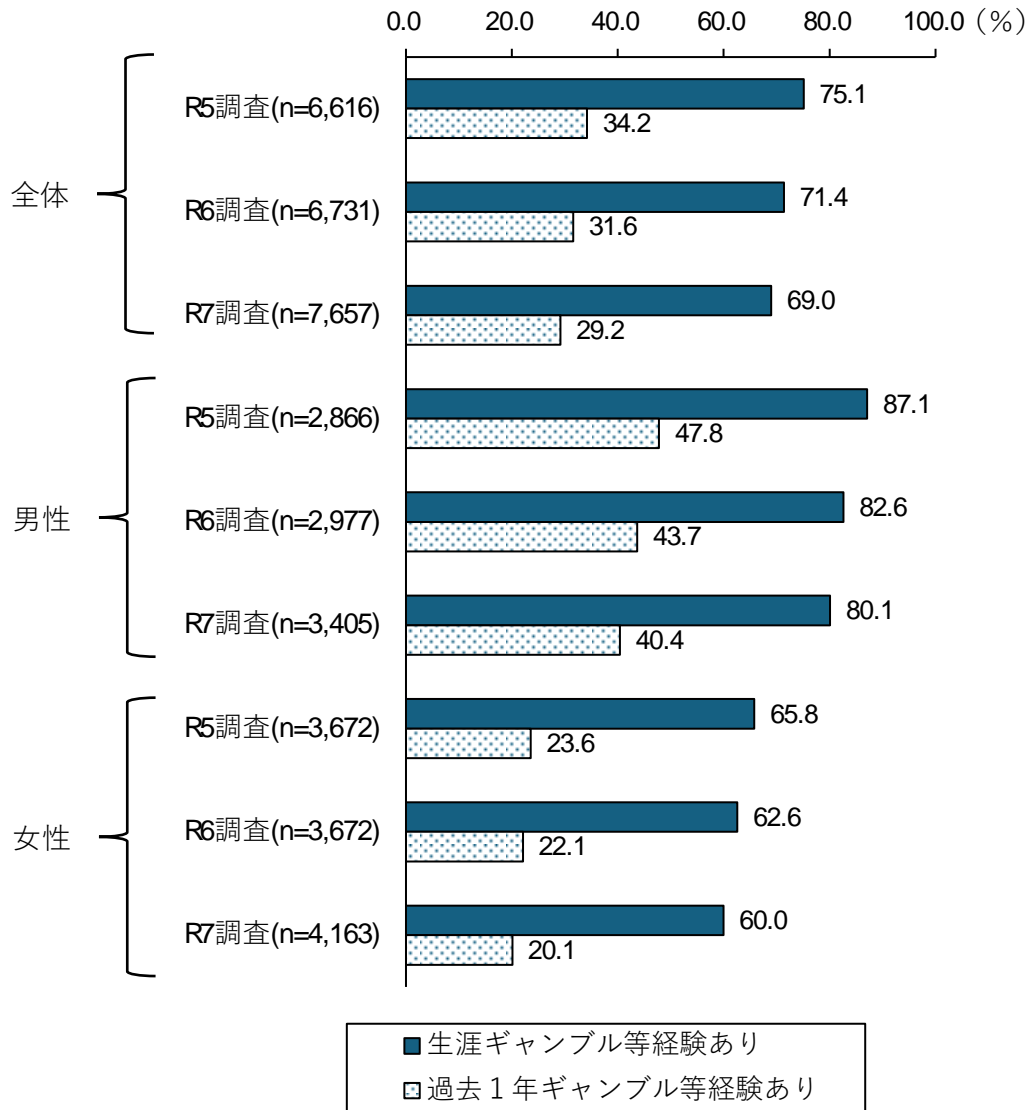


	n	年齢	
		平均値	中央値
R5調査	6,508	55.2	56
R6調査	6,604	56.1	57
R7調査	7,530	55.2	56

※年齢が不明(問2で無回答)の者は集計から除外

## (2) ギャンブル等生涯参加率の推移

R5 調査から R7 調査にかけて、生涯ギャンブル等経験あり及び過去1年ギャンブル等経験ありの割合は男女問わず年々減少している。



※なお、前頁では年齢不明(問2で無回答)の者を集計から除外しているため、本頁における各n数とは一致しない

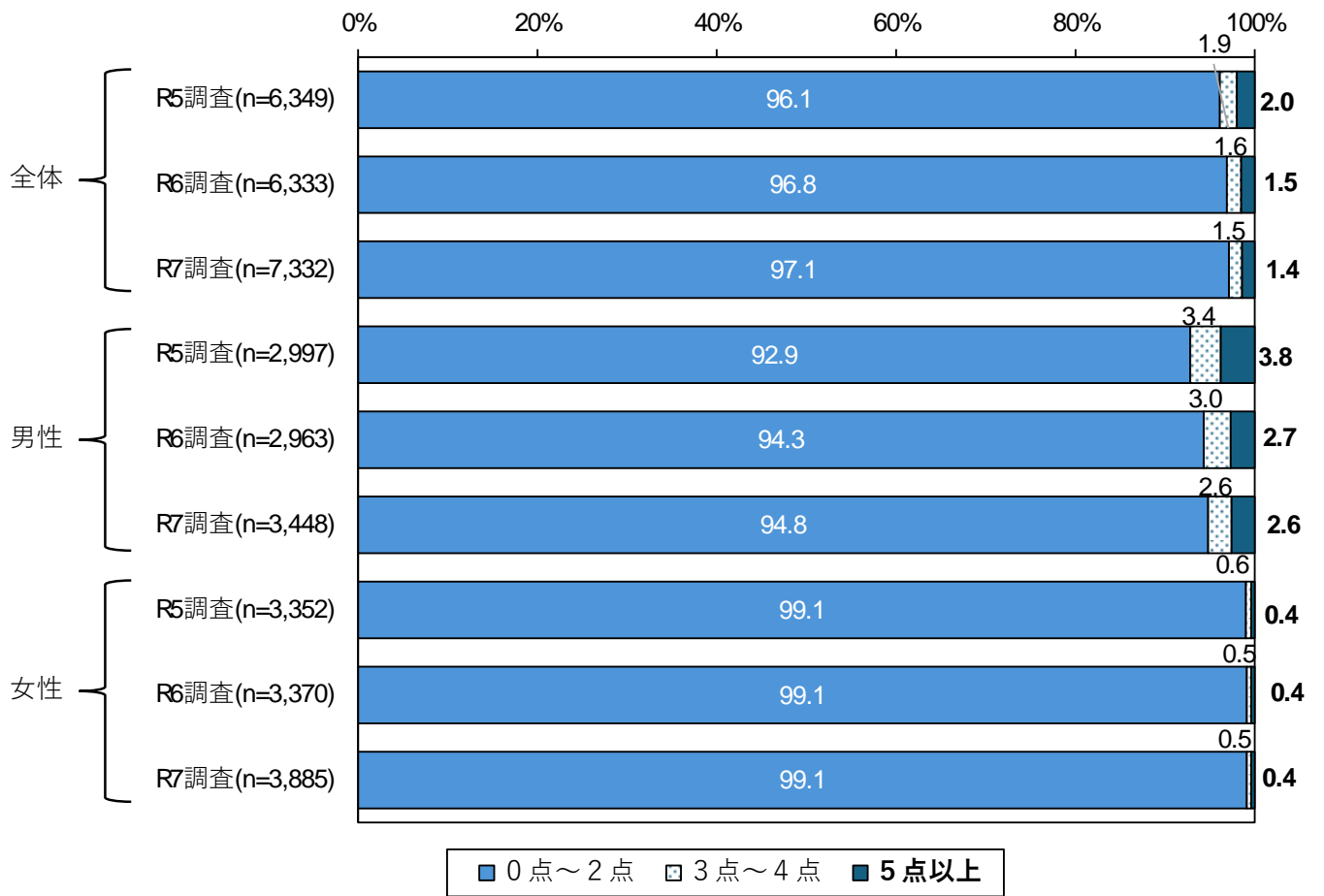
# 1 SOGS(South Oaks Gambling Screen)

## (1)SOGS 得点分布の経年比較

R5 調査から R7 調査にかけて、SOGS5点以上の割合は減少しており、性別で見ると女性は変化なく、男性で減少している。

図表1-1 年齢調整後SOGS得点分布の経年比較(全年齢)

			n	SOGS得点			
				5点未満		5点以上	
				0点~2点	3点~4点		
全体	R5調査	人数 割合	6,349 (100.0%)	6,104 (96.1%)	120 (1.9%)	125 (2.0%)	
		95%信頼区間	-	-	1.6~2.2	1.6~2.3	
	R6調査	人数 割合	6,333 (100.0%)	6,132 (96.8%)	104 (1.6%)	96 (1.5%)	
95%信頼区間		-	-	1.3~2.0	1.2~1.8		
	R7調査	人数 割合	7,332 (100.0%)	7,117 (97.1%)	109 (1.5%)	106 (1.4%)	
		95%信頼区間	-	-	1.2~1.8	1.2~1.7	
性別	男性	R5調査	人数 割合	2,997 (100.0%)	2,783 (92.9%)	101 (3.4%)	113 (3.8%)
			95%信頼区間	-	-	2.7~4.0	3.1~4.5
		R6調査	人数 割合	2,963 (100.0%)	2,793 (94.3%)	89 (3.0%)	81 (2.7%)
	95%信頼区間		-	-	2.4~3.6	2.1~3.3	
	R7調査	人数 割合	3,448 (100.0%)	3,268 (94.8%)	89 (2.6%)	91 (2.6%)	
		95%信頼区間	-	-	2.1~3.1	2.1~3.2	
	女性	R5調査	人数 割合	3,352 (100.0%)	3,321 (99.1%)	19 (0.6%)	12 (0.4%)
			95%信頼区間	-	-	0.3~0.8	0.2~0.6
		R6調査	人数 割合	3,370 (100.0%)	3,339 (99.1%)	15 (0.5%)	15 (0.4%)
95%信頼区間	-		-	0.2~0.7	0.2~0.7		
R7調査	人数 割合	3,885 (100.0%)	3,850 (99.1%)	20 (0.5%)	15 (0.4%)		
	95%信頼区間	-	-	0.3~0.7	0.2~0.6		



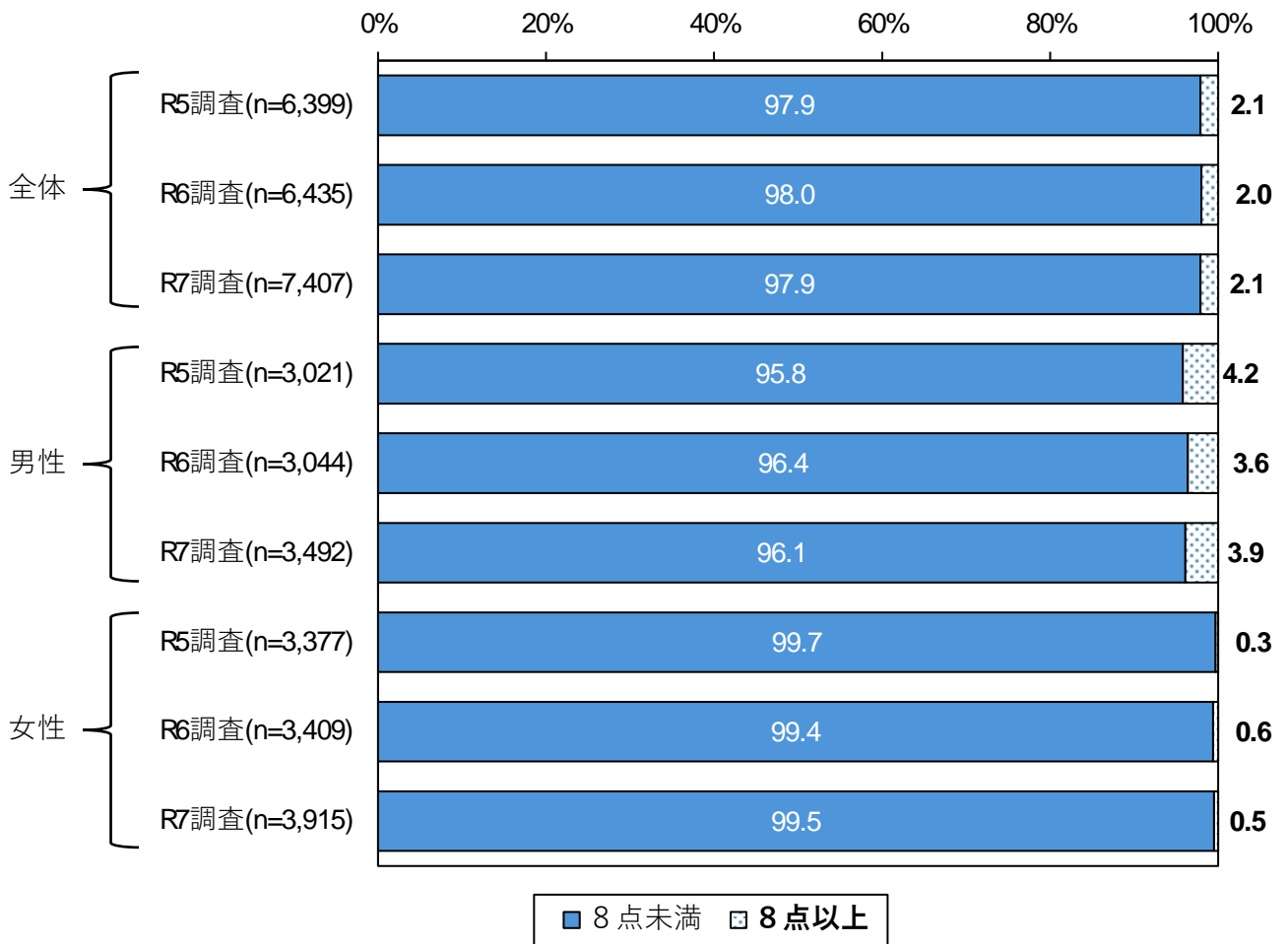
## 2 PGSI(The Problem Gambling Severity Index)

### (1)PGSI 得点分布の経年比較

R5 調査から R7 調査にかけて、PGSI8点以上の割合は横ばいであり、性別で見ると男女ともに増減している。

図表2-1 年齢調整後のPGSI得点分布の経年比較(全年齢)

			n	PGSI得点		
				8点未満	8点以上	
全体	R5調査	人数割合	6,399 (100.0%)	6,262 (97.9%)	137 (2.1%)	
		95%信頼区間	-	97.5~98.2	1.8~2.5	
	R6調査	人数割合	6,453 (100.0%)	6,323 (98.0%)	129 (2.0%)	
		95%信頼区間	-	97.6~98.3	1.7~2.3	
	R7調査	人数割合	7,407 (100.0%)	7,249 (97.9%)	158 (2.1%)	
		95%信頼区間	-	97.5~98.2	1.8~2.5	
性別	男性	R5調査	人数割合 (100.0%)	2,894 (95.8%)	127 (4.2%)	
		95%信頼区間	-	95.1~96.5	3.5~4.9	
		R6調査	人数割合 (100.0%)	2,934 (96.4%)	109 (3.6%)	
	95%信頼区間	-	95.7~97.0	2.9~4.2		
	R7調査	人数割合 (100.0%)	3,355 (96.1%)	137 (3.9%)		
	95%信頼区間	-	95.4~96.7	3.3~4.6		
	女性	R5調査	人数割合	3,377 (100.0%)	3,368 (99.7%)	9 (0.3%)
			95%信頼区間	-	99.6~99.9	0.1~0.4
		R6調査	人数割合	3,409 (100.0%)	3,389 (99.4%)	20 (0.6%)
95%信頼区間			-	99.2~99.7	0.3~0.8	
R7調査		人数割合	3,915 (100.0%)	3,894 (99.5%)	21 (0.5%)	
		95%信頼区間	-	99.2~99.7	0.3~0.8	

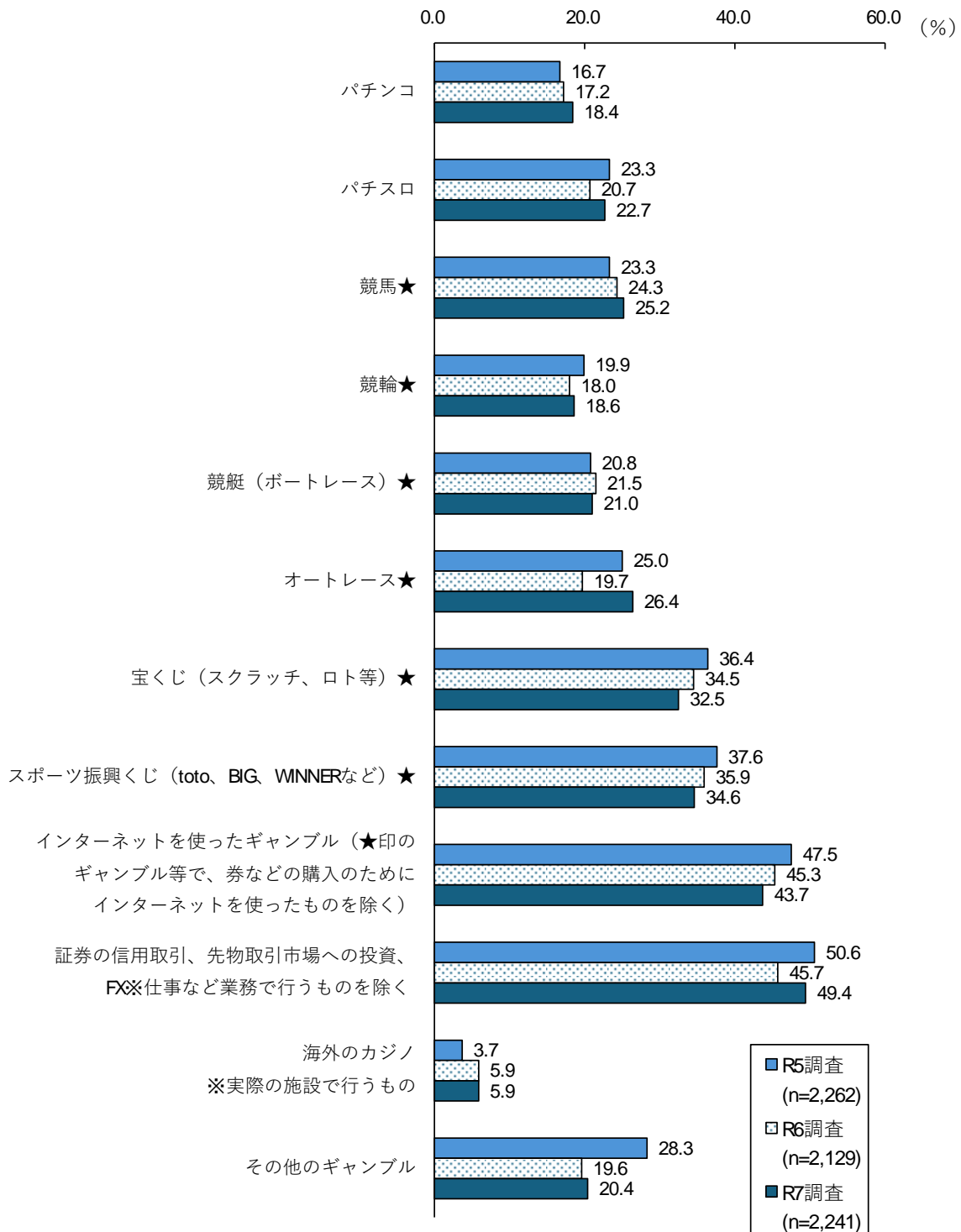


### 3 ギャンブル等行動の経年比較

#### (1) 過去1年間で経験したギャンブル等の種類

R5 調査から R7 調査にかけて、「宝くじ(スクラッチ、ロト等)」「スポーツ振興くじ(toto、BIG、WINNER など)」「インターネットを使ったギャンブル」の割合は減少している。

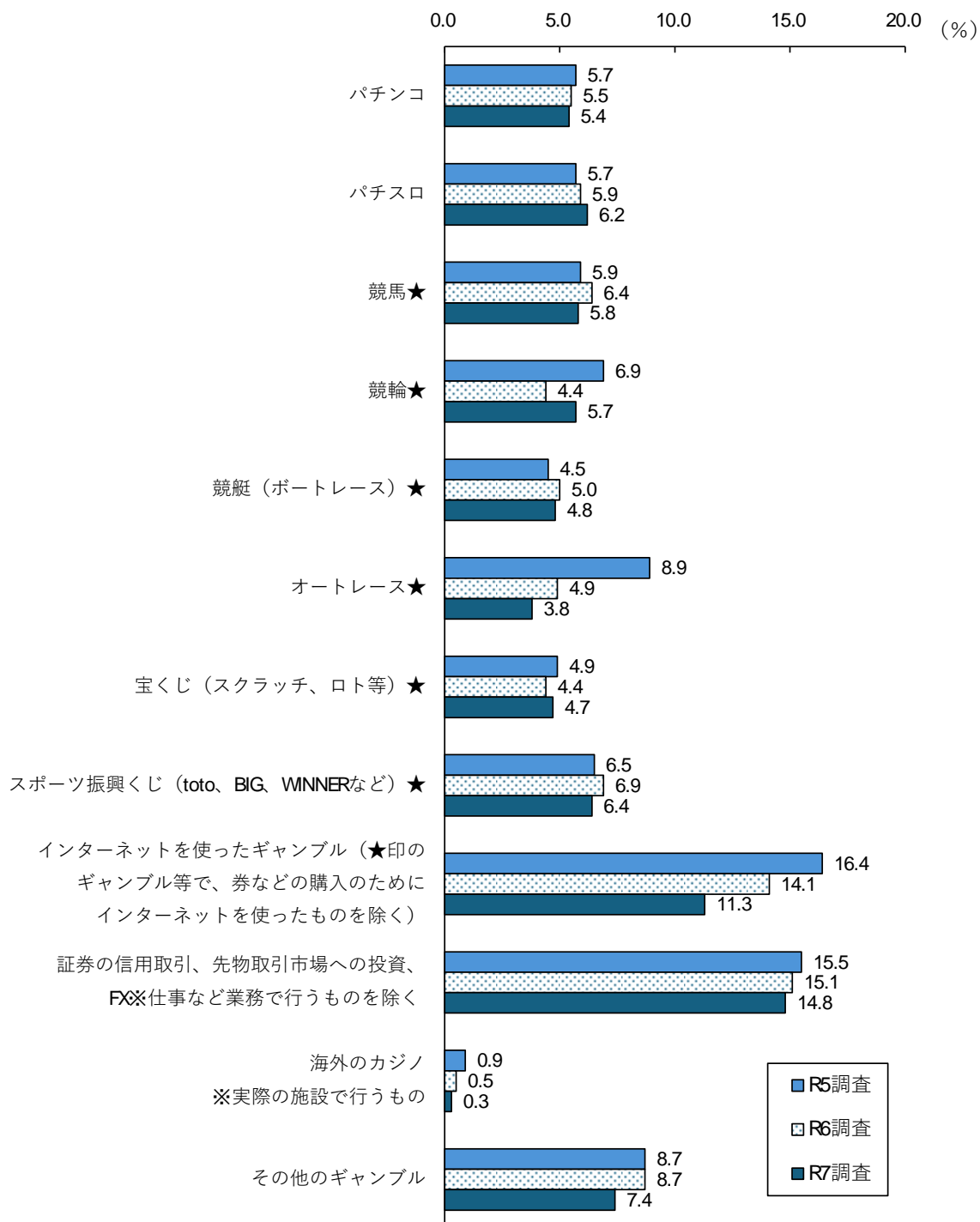
図表3-1 過去1年間で経験したギャンブル等の種類【経年比較】



## (2) 過去1年間に行ったギャンブル等の頻度

R5 調査から R7 調査にかけて、「インターネットを使ったギャンブル」の割合は減少している。

図表3-2 過去1年間でギャンブル等を行った頻度(週1回以上の割合)【経年比較】

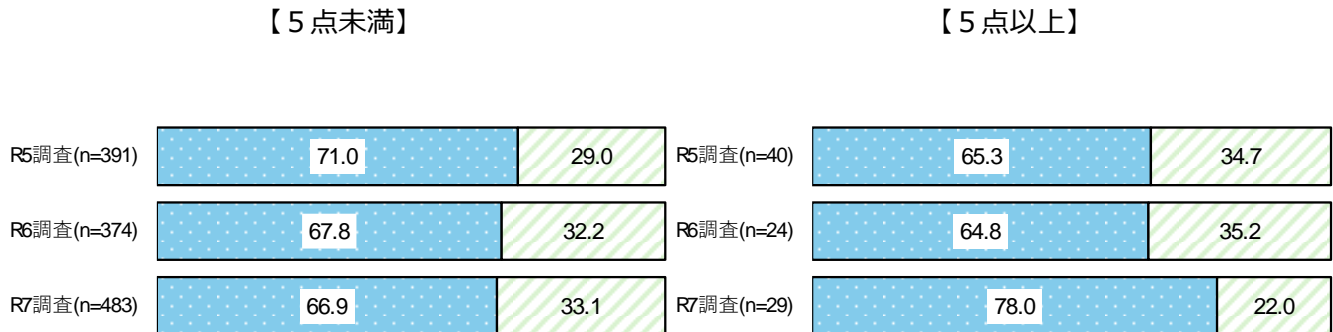


### (3) ギャンブル等依存が疑われる者の群とそうでない者の群の比較—公営競技等の主な券の購入方法

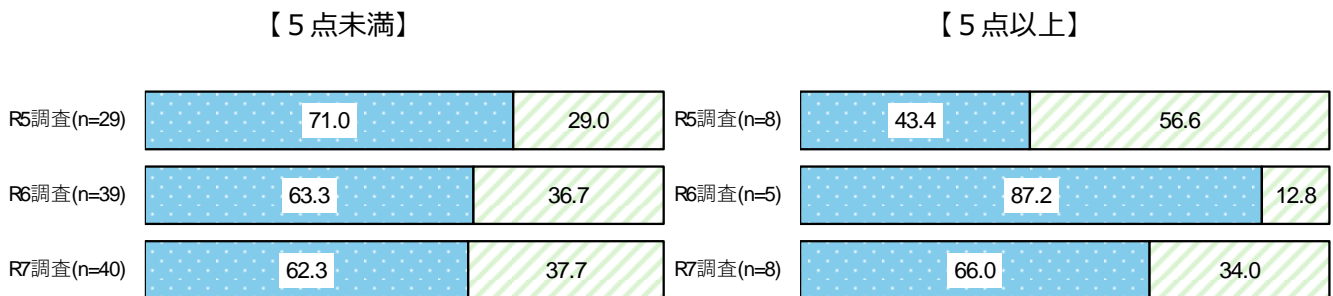
SOG5 点以上のギャンブル等依存が疑われる群は R5 調査から R7 調査にかけて、ほとんどすべてのギャンブル(競輪を除く)で、「主にインターネット(オンライン)での購入」の割合が増加している。

図表3-3 年齢調整後ギャンブル等依存が疑われる者の群(SOG5点以上)とそうでない者の群の比較  
【経年比較】過去1年間の公営競技等の主な券の購入方法

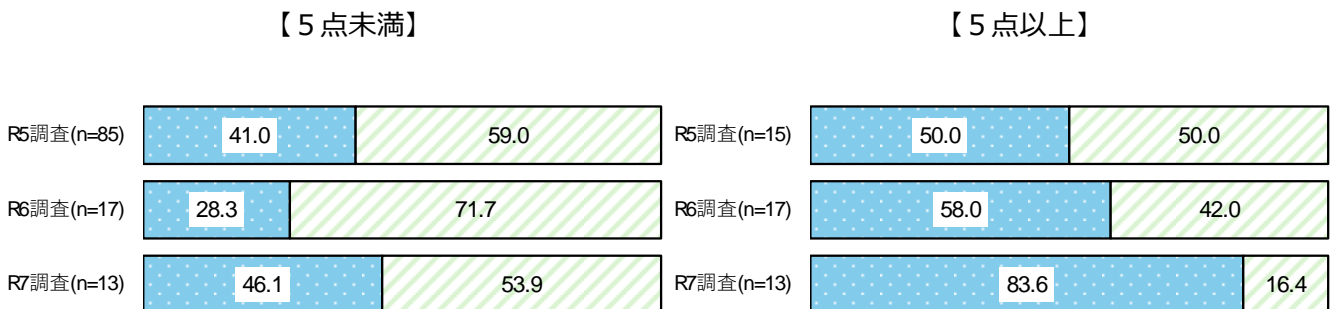
#### ・競馬



#### ・競輪



#### ・競艇



主にインターネット(オンライン)で購入  
 主にギャンブル場又は売り場(場外を含む)で購入

・オートレース

【5点未満】

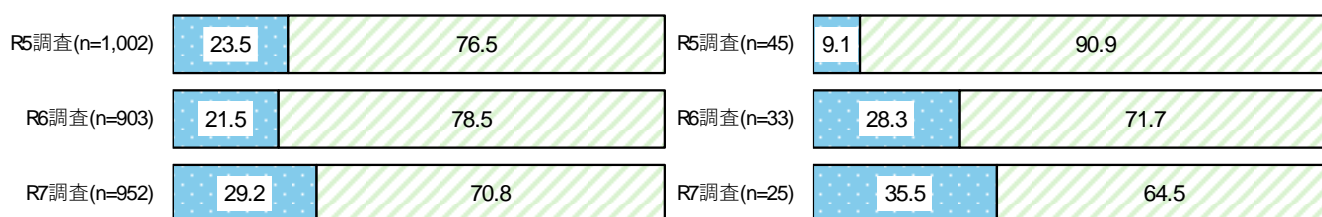
【5点以上】



・宝くじ(スクラッチ、ロト等)

【5点未満】

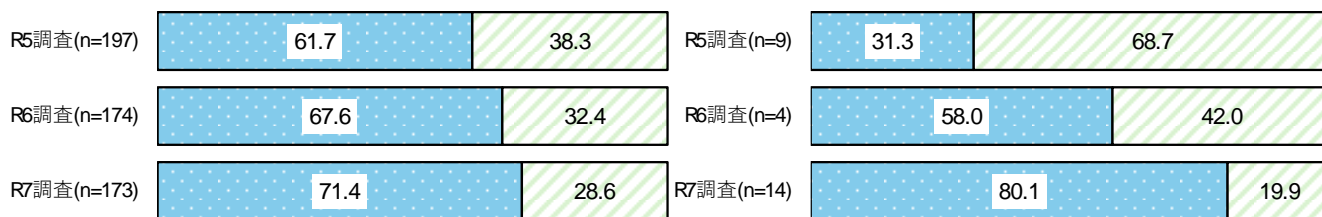
【5点以上】



・スポーツ振興くじ

【5点未満】

【5点以上】



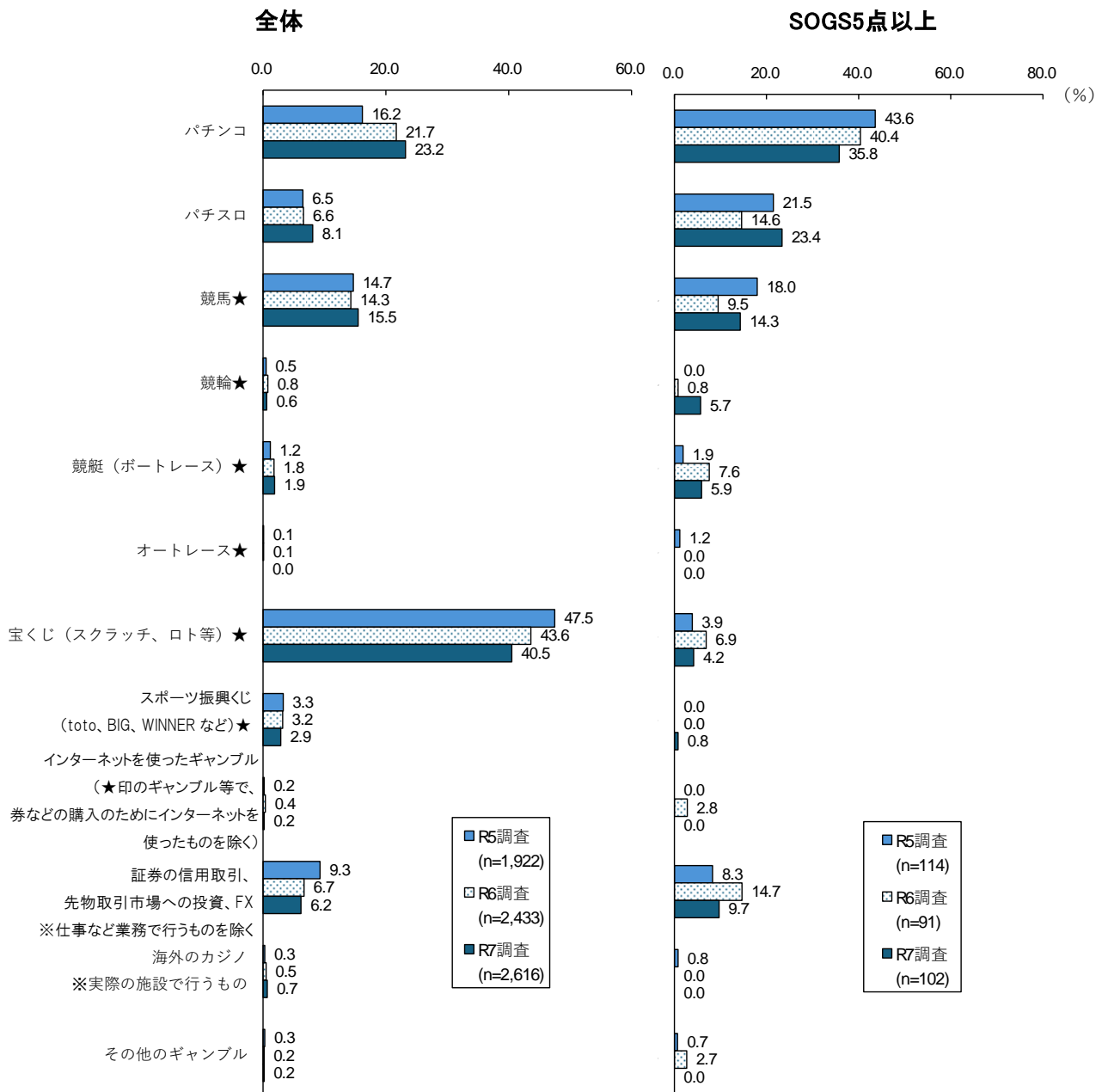
主にインターネット（オンライン）で購入  
 主にギャンブル場又は売り場（場外を含む）で購入

#### (4) 過去1年間で最もお金を使ったギャンブル等の種類

最もお金を使ったギャンブル等の種類は、R5 調査から R7 調査にかけて、「宝くじ(スクラッチ、ロト等)」の割合は減少し、「パチンコ」の割合が増加している。

SOGs5点以上のギャンブル等依存が疑われる者に限ると、R5 調査から R7 調査にかけて、「パチンコ」の割合が増加している。

図表3-4-1 過去1年間で最もお金を使ったギャンブル等の種類【経年比較】

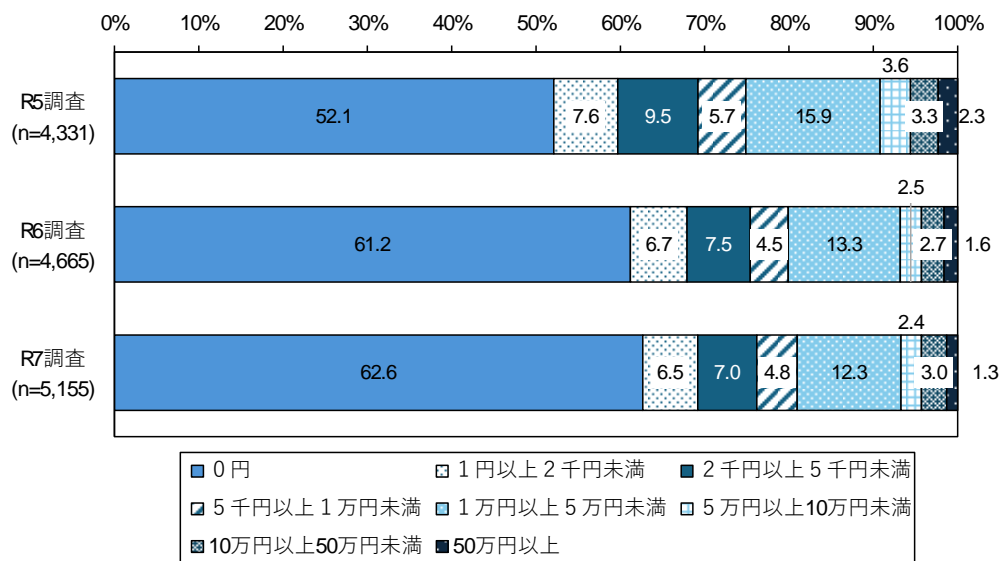


### (5) 過去1年間で1か月あたりにギャンブル等にかけての金額

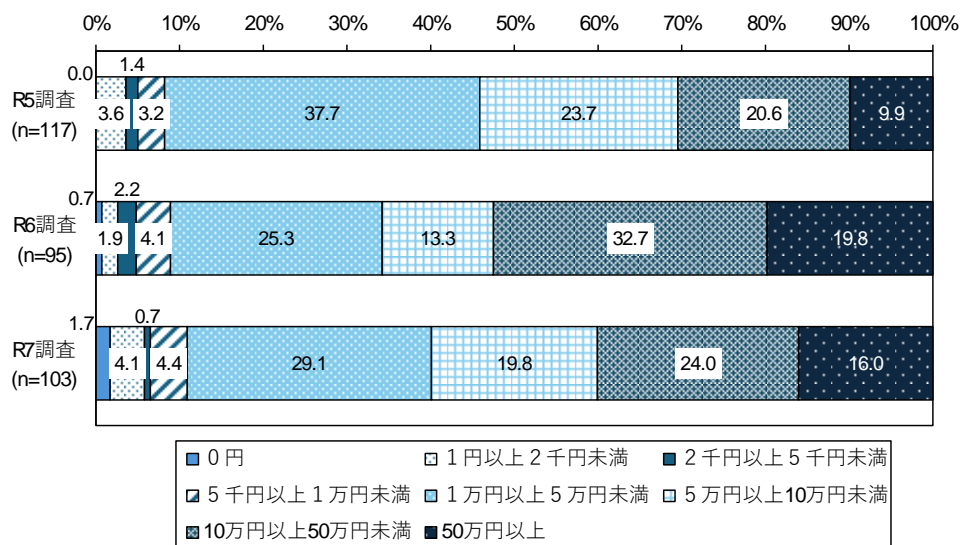
ギャンブル等にかけている金額について、R5 調査から R7 調査にかけて「0円」の割合が増加し「1万円以上5万円未満」の割合が減少している。

SOGs5点以上のギャンブル等依存が疑われる者に限ると、R5 調査から R7 調査にかけて、「10万円以上50万円未満」と「50万円以上」が占める割合が R5 調査の 30.5%と比較すると、R6 調査は 52.5%、R7 調査は 40.0%と高くなっている。

図表3-5-1 1年間でギャンブル等にかけている金額(1か月あたり、勝ったお金は含めず)【経年比較】



図表3-5-2 ギャンブル等依存が疑われる者(SOGs5点以上)-過去1年間でギャンブル等にかけている金額(1か月あたり、勝ったお金は含めず)【SOGs得点区分比較】



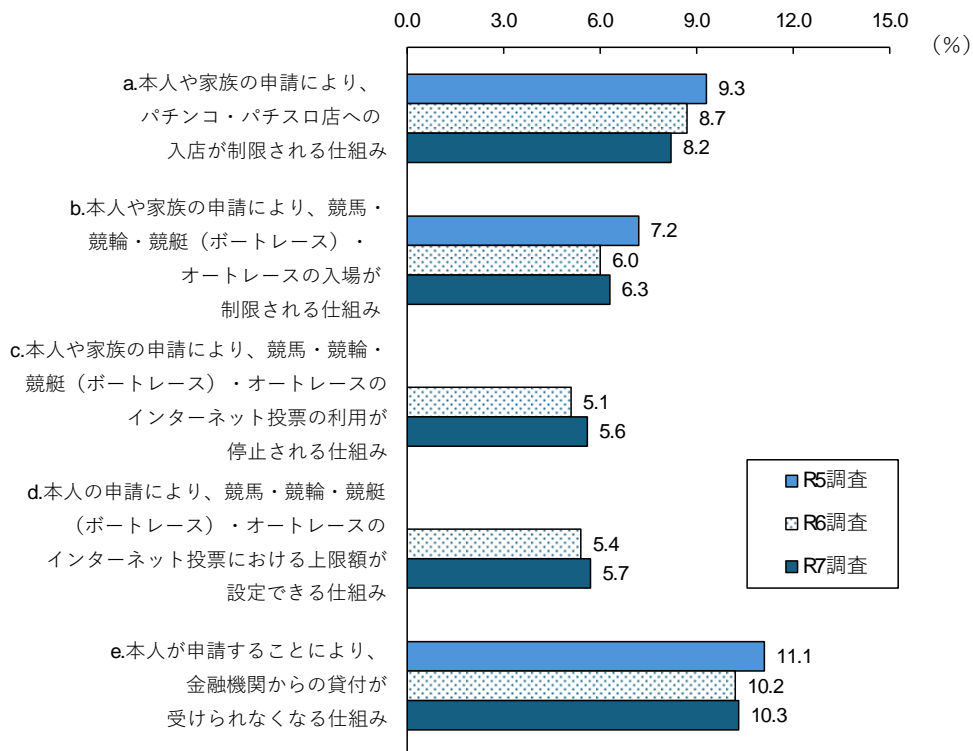
## 4 ギャンブル等依存症対策に関する認知度

ギャンブル等依存症対策に関する認知度について、R5 調査から R7 調査にかけて「知っている」の割合は微増減をしながら推移している。

図表 4-1 ギャンブル等依存症対策に関する認知度

		a.本人や家族の申請により、パチンコ・パチスロ店への入店が制限される仕組み	b.本人や家族の申請により、競馬・競輪・競艇(ボートレース)・オートレースの入場が制限される仕組み	c.本人や家族の申請により、競馬・競輪・競艇(ボートレース)・オートレースのインターネット投票の利用が停止される仕組み	d.本人の申請により、競馬・競輪・競艇(ボートレース)・オートレースのインターネット投票における上限額が設定できる仕組み	e.本人が申請することにより、金融機関からの貸付が受けられなくなる仕組み	
R5調査	人数	582	449			693	
	割合	(9.3%)	(7.2%)			(11.1%)	
		有効回答者	6,262	6,237		6,243	
R6調査	人数	554	380	323	345	649	
	割合	(8.7%)	(6.0%)	(5.1%)	(5.4%)	(10.2%)	
		有効回答者	6,362	6,344	6,337	6,335	6,342
R7調査	人数	592	451	401	412	743	
	割合	(8.2%)	(6.3%)	(5.6%)	(5.7%)	(10.3%)	
		有効回答者	7,241	7,216	7,213	7,211	7,210

※『本人や家族の申請により、競馬・競輪・競艇(ボートレース)・オートレースのインターネット投票の利用が停止される仕組み』『本人の申請により、競馬・競輪・競艇(ボートレース)・オートレースのインターネット投票における上限額が設定できる仕組み』はR6年度から質問項目に追加

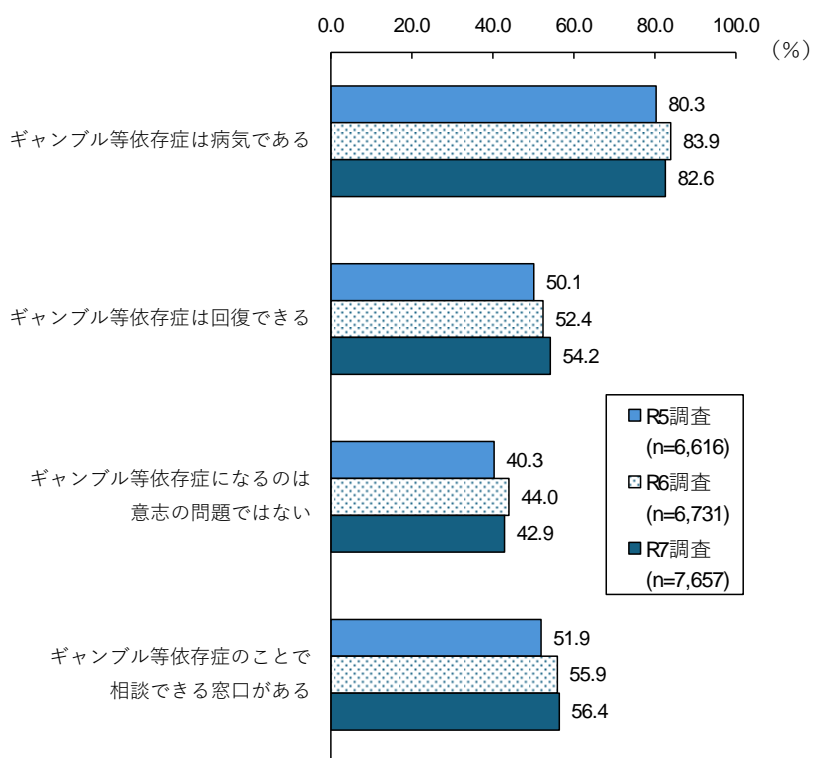


## 5 ギャンブル等依存症に対する認識

ギャンブル等依存症に対する認識について、R5 調査から R7 調査にかけて『ギャンブル等依存症は回復できる』や『ギャンブル等依存症のことで相談できる窓口がある』では「知っている」の割合が増加し続けている。

図表5-1 ギャンブル等依存症に対する認識

	n	ギャンブル等依存症に対する認識			
		ギャンブル等依存症は病気である	ギャンブル等依存症は回復できる	ギャンブル等依存症になるのは意志の問題ではない	ギャンブル等依存症のことで相談できる窓口がある
R5調査	6,616	80.3	50.1	40.3	51.9
R6調査	6,731	83.9	52.4	44.0	55.9
R7調査	7,657	82.6	54.2	42.9	56.4

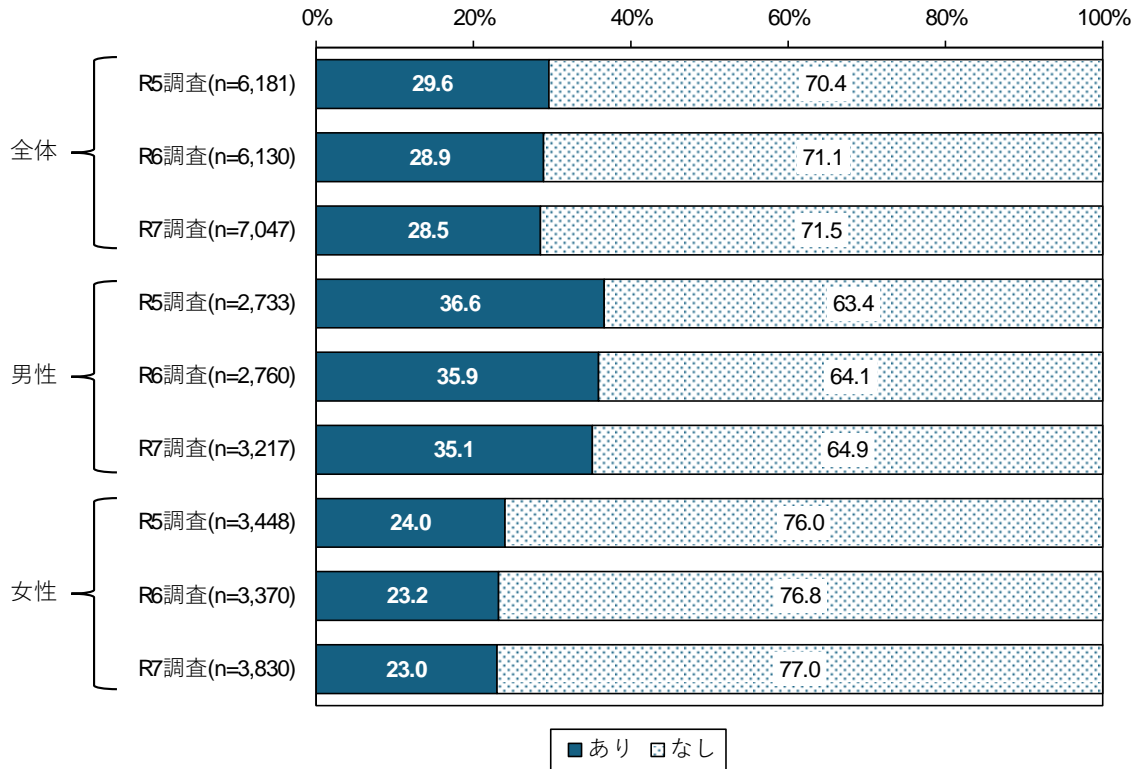


## 6 その他統計(飲酒問題・喫煙・抑うつ、不安・希死念慮)

### (1) 飲酒問題の有無

飲酒問題の有無について、R5 調査から R7 調査にかけて「ある」がわずかに減少している。

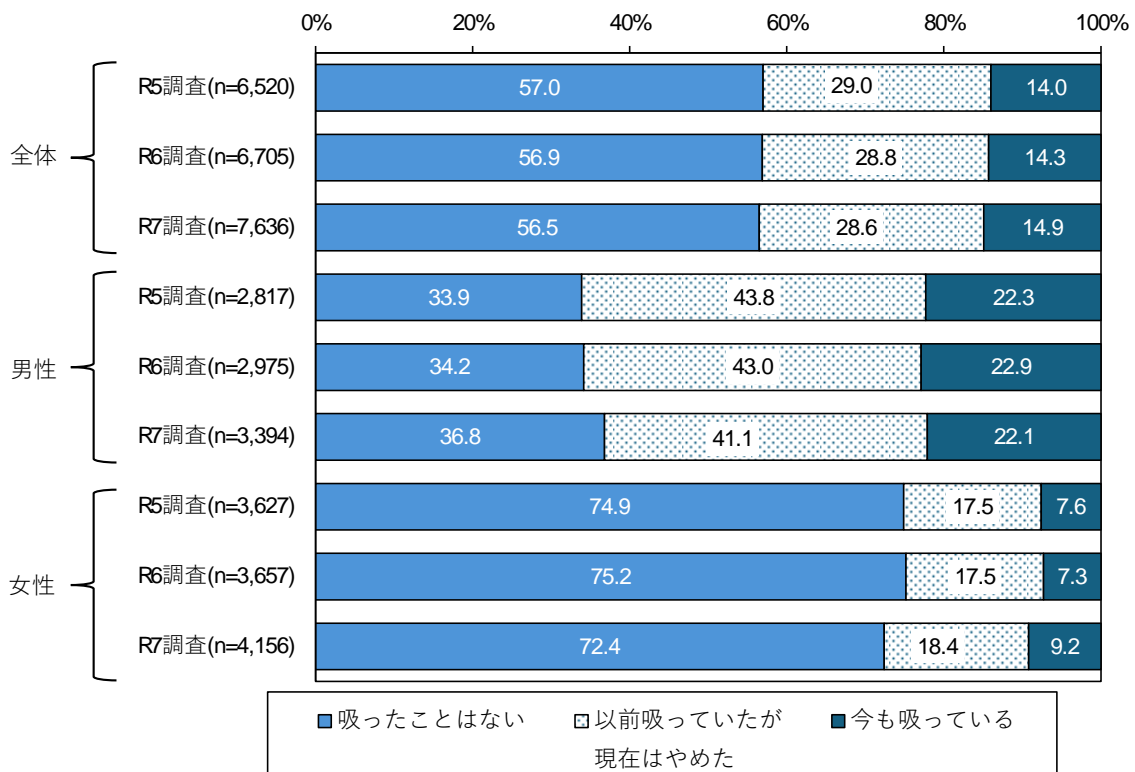
図表6-1 飲酒問題の有無【経年比較】



### (2) 喫煙

喫煙について、R5 調査から R7 調査にかけて「吸ったことはない」が全体ではわずかに減少しているが、男性ではわずかに増加している。

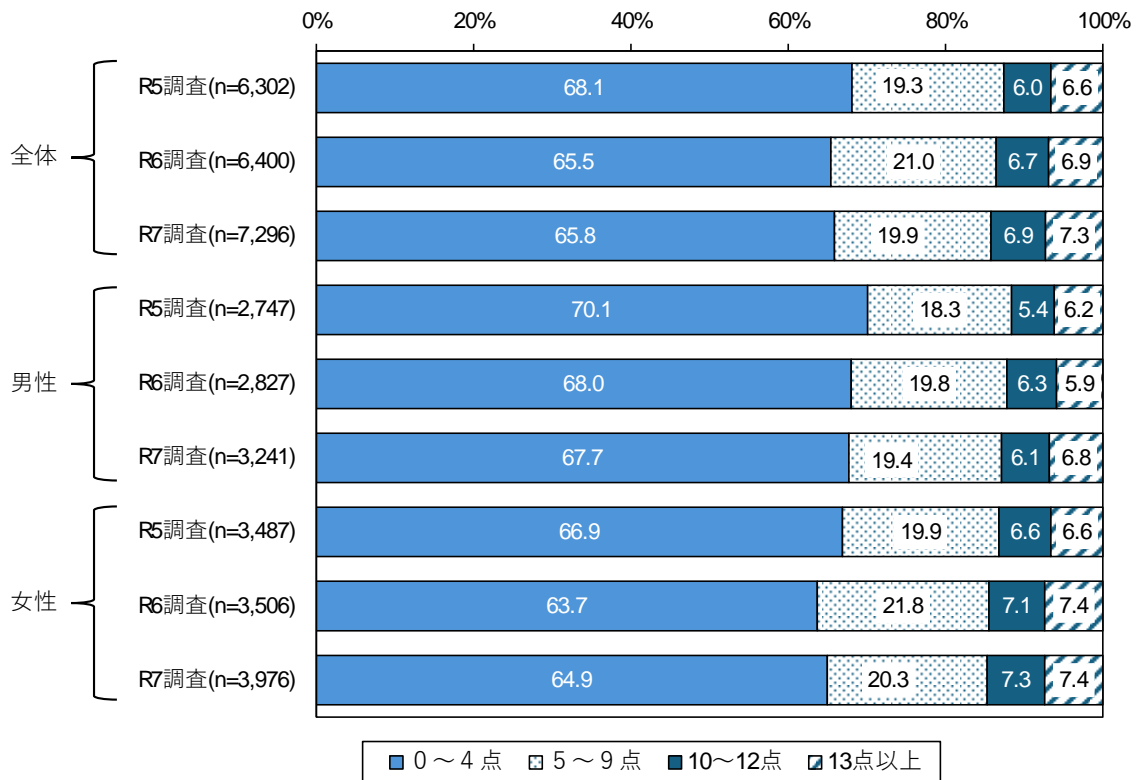
図表6-2 喫煙状況【経年比較】



### (3) 抑うつ、不安との関連

抑うつ、不安について、R5 調査から R7 調査にかけて「5点以上」がおおよそ3割以上と横ばいとなっている。

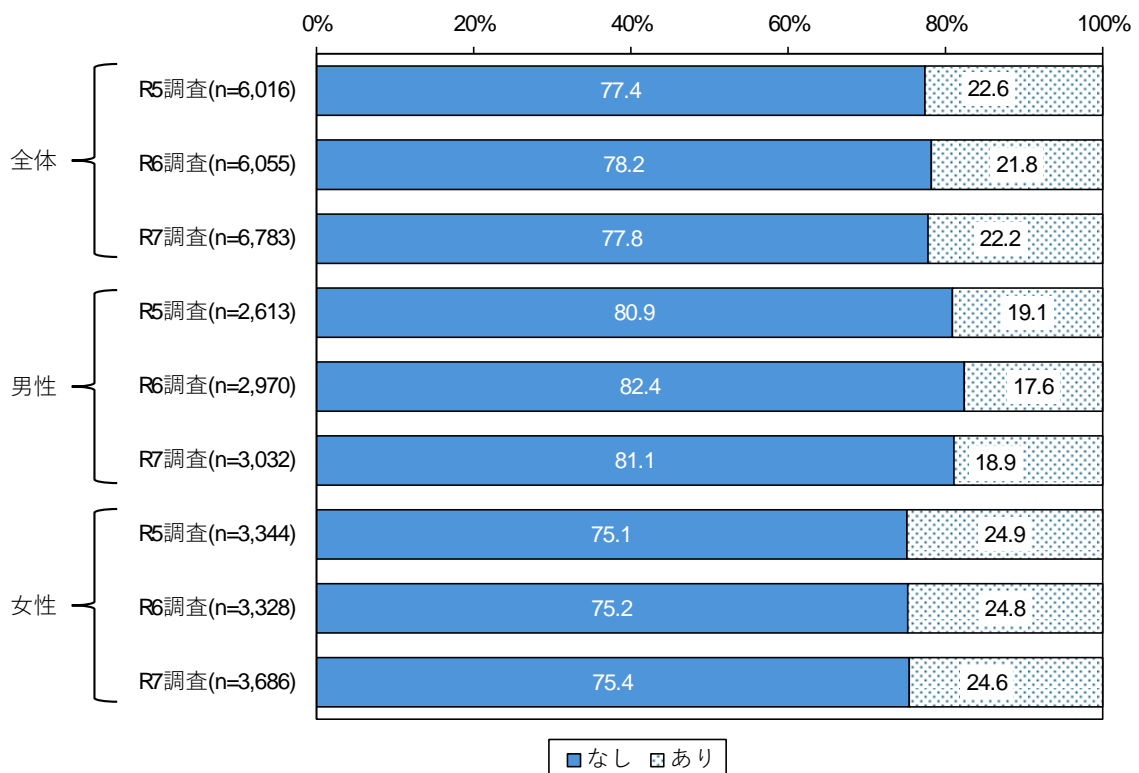
図表6-3 抑うつ、不安【経年比較】



### (4) 希死念慮

希死念慮について、R5 調査から R7 調査にかけて「あり」が横ばいとなっているが、男性と女性を比べると女性の方が「あり」の割合が2割以上と高い。

図表6-4 希死念慮の有無【経年比較】

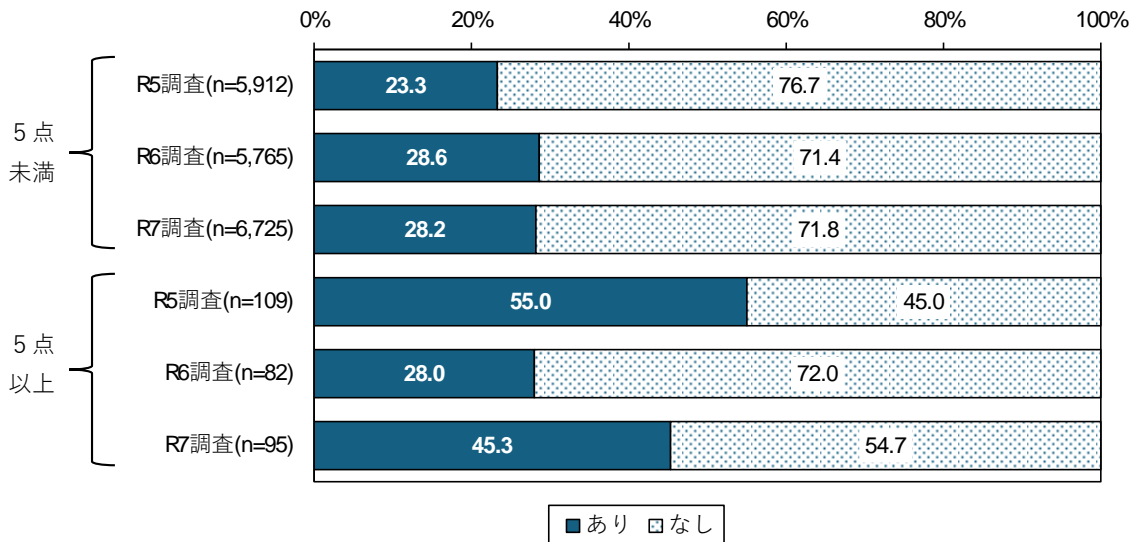


## 7 「ギャンブル等依存が疑われる者」における「ギャンブル等関連問題」

### (1)ギャンブル等問題と飲酒問題との関連

ギャンブル等問題と飲酒問題との関連について、ギャンブル等依存が疑われる者の群では、R5 調査と R7 調査では飲酒問題を有する者の割合が有意に高かった。R5 調査： $\chi^2(1)=16.050$ ,  $p<.01$ 、R7 調査： $\chi^2(1)=13.359$ ,  $p<.01$

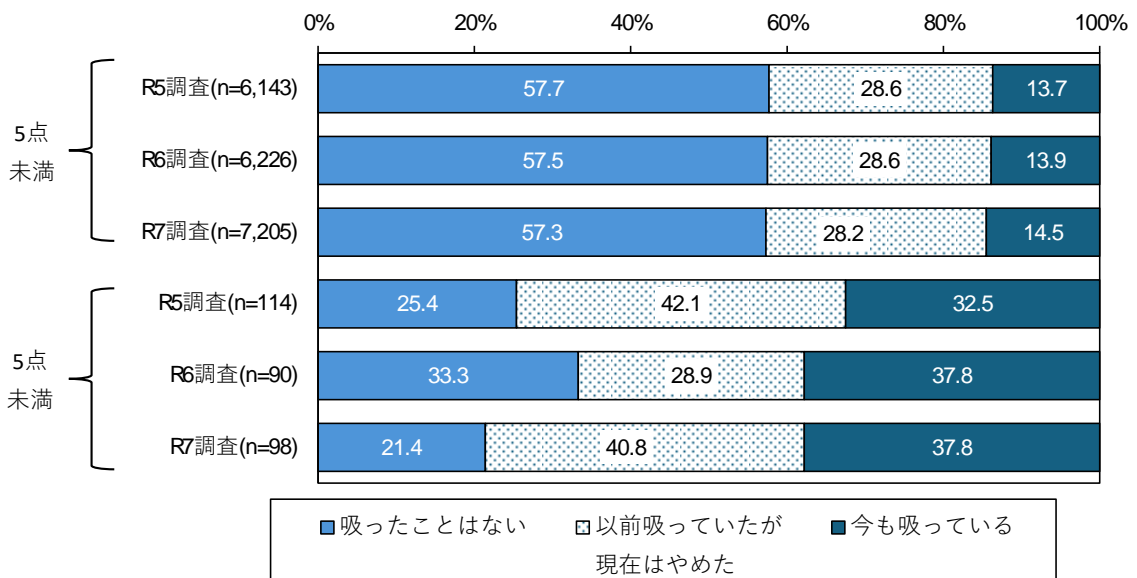
図表7-1 ギャンブル等依存が疑われる者(SOG5点以上)と飲酒問題との有無【経年比較】



### (2)ギャンブル等問題と喫煙との関連

ギャンブル等問題と喫煙との関連について、ギャンブル等依存が疑われる者の群では、いずれの調査においても喫煙する者の割合が有意に高かった。R5 調査： $\chi^2(2)=55.202$ ,  $p<.01$ 、R6 調査： $\chi^2(2)=44.432$ ,  $p<.01$ 、R7 調査： $\chi^2(2)=62.499$ ,  $p<.01$

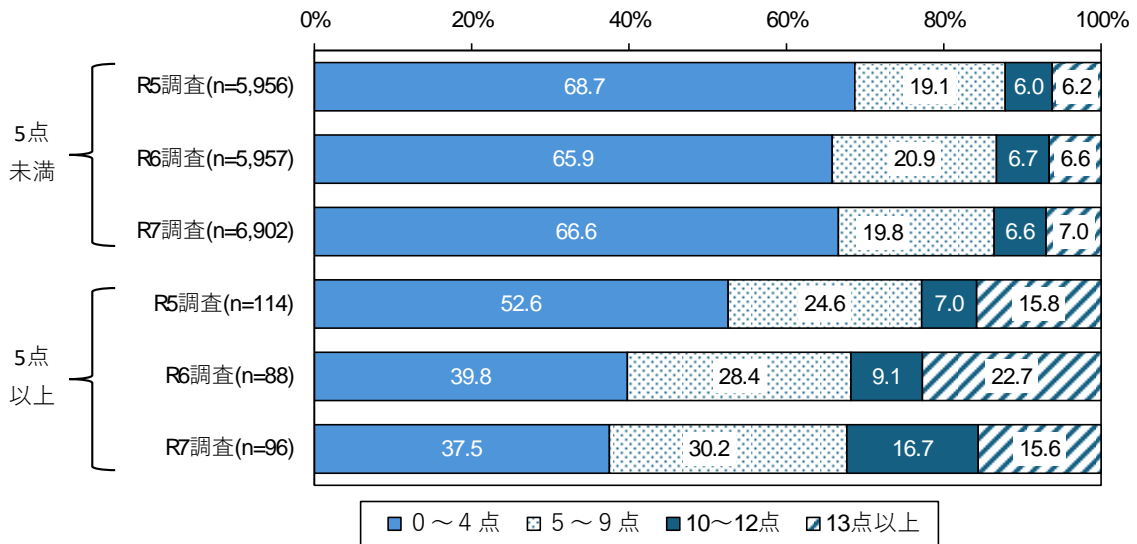
図表7-2 ギャンブル等依存が疑われる者(SOG5点以上)と喫煙との関連【経年比較】



### (3) ギャンブル等問題と抑うつ、不安との関連

ギャンブル等問題と抑うつ、不安との関連について、ギャンブル等依存が疑われる者の群では、いずれの調査においても有意に重度のうつ・不安障害が強いことが示された。R5 調査:  $\chi^2(3)=26.671$ ,  $p<.01$ 、R6 調査:  $\chi^2(1)=26.138$ ,  $p<.01$ 、R7 調査:  $\chi^2(1)=35.759$ ,  $p<.01$

図表7-3 ギャンブル等依存が疑われる者(SOG5点以上)と抑うつ、不安との関連【経年比較】



### (4) ギャンブル等問題と希死念慮との関連

ギャンブル等問題と希死念慮との関連について、ギャンブル等依存が疑われる者の群では、いずれの調査においても希死念慮を有する割合が有意に高かった。R5 調査:  $\chi^2(1)=26.995$ ,  $p<.01$ 、R6 調査:  $\chi^2(1)=18.963$ ,  $p<.01$ 、R7 調査:  $\chi^2(1)=14.320$ ,  $p<.01$

図表7-4 ギャンブル等依存が疑われる者(SOG5点以上)と希死念慮との関連【経年比較】

